

# 浅田栄一賞 受賞者一覧

所属は受賞当時。

第1回 2006年10月	1号	中野 和彦 (大阪市立大学)	ポリキャピラリーX線レンズを用いた共焦点型三次元蛍光X線分析装置の設計と試作
	2号	矢野 陽子 (立命館大学)	試料水平型X線反射率測定装置への人工多層膜モノクロメータの適用
第2回 2007年9月	3号	江場 宏美 (武蔵工業大学)	K $\beta$ 蛍光X線スペクトルによる MnZn フェライトの Mn サイトの識別と磁性評価
第3回 2008年10月	4号	前尾 修司 (大阪電気通信大学)	多重励起X線管の開発
	5号	谷田 肇 (高輝度光科学研究センター)	液液界面全反射 XAFS 法の開発
第4回 2009年11月	6号	保倉 明子 (東京電機大学)	微小部X線分析法のファイトレメディエーション用植物への応用
第5回 2010年10月	7号	栗崎 敏 (福岡大学)	X線吸収スペクトル測定装置の開発と各種金属イオンおよび金属錯体の溶存構造解析
第6回 2011年10月	8号	山本 孝 (徳島大学)	遷移金属 XANESスペクトルのプリエッジピークに関する研究
第7回 2012年10月	9号	国村 伸祐 (東京理科大学)	ハンディーサイズの全反射蛍光X線分析装置の開発と応用
第8回 2013年9月	10号	大橋 弘範 (九州大学)	X線分光法やメスバウアー分光法等の併用による金担持触媒のキャラクタリゼーション
第9回 2014年10月	11号	今宿 晋 (京都大学)	焦電結晶を用いた小型の電子線マイクロアナライザーの開発
第10回 2015年10月	12号	志岐 成友 (産業技術総合研究所)	超伝導トンネル接合素子をアレイ化したピクセル検出器の開発と軽元素 K 吸収スペクトロスコープへの実用化
第11回 2016年10月	13号	福田 勝利 (京都大学)	X線回折/X線分光融合技術の開発と蓄電池反応解析への応用
第12回 2017年10月	14号	中西 康次 (立命館大学)	高品位・高信頼性の軟X線吸収スペクトロスコープ機器開発と革新的な電池研究への貢献
第13回 2018年10月	15号	永井 宏樹 (アワーズテック株式会社)	オンサイト分析のためのポータブル蛍光X線分析装置の開発と応用
第14回 2019年10月	16号	阿部 善也 (東京理科大学)	高エネルギー放射光X線分析技術の高度化と文化財・環境試料からの起源情報の解読
第15回 2020年10月	17号	市川 慎太郎 (福岡大学)	蛍光X線分析法による微量土器試料の高精度産地同定

所属は受賞当時。